

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 「夢と希望」、「自信と誇り」をはぐくむ教育の実践・継続を図る。
- 学力向上の基盤となる「生徒と教師の信頼関係」を構築する。
- 主体的・対話的で深い学びを追求する。
- 生徒が豊かな人間性を養い、生涯にわたって生きて働く真の学力を身につけるために、やり抜く力（Grit）、自分を伸ばす力（Growth）、協調する力（Global）をつけさせる。

＜本年度の学力向上策＞

- 学力向上の基盤（落ち着いた場と心を育てる）をつくるため、6つの行動目標を徹底する。
 - ① さわやかなあいさつと返事 ② 校歌を大切に歌う ③ 靴のかかとをそろえる ④ けじめをつける ⑤ 時間を大切にする ⑥ 掃除をする
- 3つの視点（主体的・対話的で深い学び）に立った授業改善を進める。
 - ・教科内で計画（目標、具体的な方策、公開授業）立案、まとめを行い、文章（電子ファイル）として残す。
 - ・授業研究会を行いながら研究を進める。
- 授業の中に3つのG（Grit、Growth、Global）を位置づけた指導案を作成する。
- 道徳、特別活動、総合的な学習の時間について学年間の連携を図り、計画的に研究を進めていく。
- 学校全体で授業を参観し合う雰囲気醸成し、取組みを工夫する。

＜本年度の振り返り＞

- 学習の基盤となる、6つの行動目標については、昨年度よりも、確実に生徒の意識の中に浸透してきたことが、アンケート結果等から感じられた。また、学年が上がるにつれて、生徒自身の評価規準が厳しくなる傾向も読み取れた。
- 教科ごとに目標を立て、3つの視点（主体的・対話的で深い学び）による授業改善への取り組みを、計画的に進めることができた。指導案の形式（3つのGを位置づける）をそろえ、全員が公開授業を行い、組織的で実践的な研究ができた。年度末のまとめでは教科を超えたやりとりができ、来年度の方向性を検討することができた。来年度はさらに研究を深めていきたい。
- 道徳、特別活動、総合的な学習の時間の学年間の連携については、話し合いの時間を確保することが難しかった。来年度は組織も含め、計画的に進めたい。

